

第4節 水環境の保全等

(1) 主な目標と現状

【主な目標】

2010(平成22)年度までに河川の代表的な汚濁指標である生物化学的酸素要求量(BOD)の環境保全目標を概ね達成することなどを目標に、水質汚濁の主な原因である生活排水の処理について重点的に対策を進めます。

また、大阪湾の水質保全については、海域の代表的な汚濁指標である化学的酸素要求量(COD)や、富栄養化の原因となる窒素、リンの排出量を一層削減するなどの対策を進めます。

【計画策定時の状況】

BODの環境保全目標は、約6割の河川で達成していました。

また、大阪湾の水質は、COD等の環境保全目標について、湾奥部等で達成・維持していたものの未達成の海域もあり、季節、場所によって赤潮や貧酸素水塊の発生が確認されていました。

【現状】

河川のBOD濃度は、この10年間でみると全体的に改善の傾向にあります。平成20年度は、河川80水域中65水域が環境保全目標を達成していました(達成率81.3%。平成19年度は58水域が達成)。

また、大阪湾のCOD濃度はここ10年間では横ばいの状況です。平成20年度は15点中6点で環境保全目標を達成していました(達成率は40.0%)。

図-24 府内主要河川におけるBOD(年平均値)の推移

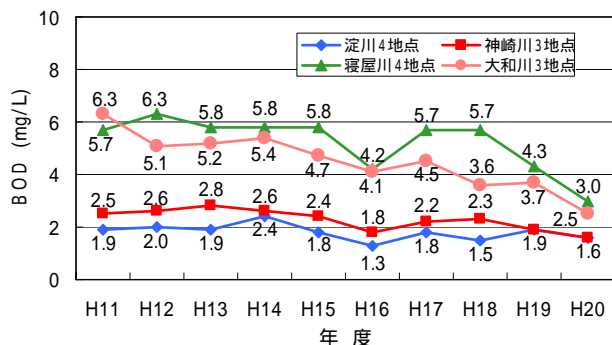
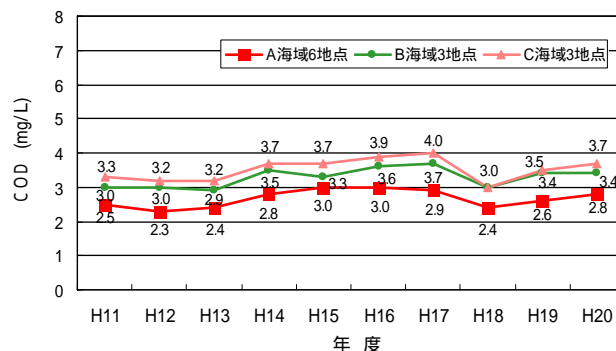


図-25 大阪湾のCODの推移
(大阪府測定点・表層年平均値)



(2) 平成20年度に講じた施策

水循環の再生

「おおさかレインボウぷるじえくと！」の推進

【環境管理室 内線：3854】

雨水を活用したまちづくりを推進するため、「おおさかレインボウぷるじえくと！」として、平成17年度から平成19年度までモデル事業を実施してきました。平成20年度は、モデル事業の成果を活用し、より広く府民へ実践していただけるように市民団体、学校及び市町村等と連携を図り、イベントや出前講座等を通じ、雨水利用の普及促進を図りました。

(環境関連主要事業(決算額)一覧 NO. 36)

図-26 小学校での雨水利用



水環境の保全

河川の水質管理と健全な水循環の構築に向けた取り組み

【環境管理室 内線：3854】

水生生物保全に係る河川水質環境基準（全亜鉛）の類型指定等について、大阪府環境審議会に諮問し、検討を進めました。

また、国管理河川の中で平成17年から19年まで3年連続して全国水質ワーストワンとなった大和川の水質改善を進めるため、「大和川水質改善検討チーム」を設置し、取り組みの促進を図りました。

さらに、平成19年度に設立した見出川流域水循環再生協議会（地元市民団体、小学校、学識経験者、行政で構成）が中心となって、流域内での連携により「見出川パネル展」や「見出川交流会」の開催など健全な水循環の再生に向けた取り組みを実施しました。

（環境関連主要事業（決算額）一覧 NO.200）

図-27 見出川パネル展の開催



生活排水対策の推進

【環境管理室 内線：3854】

平成15年3月に策定した「大阪府生活排水処理実施計画」に基づき、地域特性に応じた効果的かつ効果的な処理施設整備を進めるため、市町村による生活排水処理計画の推進に対して技術的支援を行いました。平成20年度は四條畷市、熊取町、岬町で生活排水処理計画の見直しが行わ

れました。

また、平成18年度に設定した「大阪府生活排水対策推進月間」（2月）を中心に、イベントでのパネル展示や、生活協同組合との連携等により、家庭における一人ひとりの負荷削減の取り組みを呼びかけました。

（環境関連主要事業（決算額）一覧 NO.198）

浄化槽整備事業の推進

【環境衛生課 内線：2577】

生活排水対策やトイレの水洗化による生活環境の改善に効果的な合併処理浄化槽の設置をさらに促進するため、個人が浄化槽を設置する際の費用の一部を助成する「浄化槽設置整備事業（個人設置型）」及び市町村が主体となって各戸ごとに浄化槽を整備し、使用料を徴収して管理運営する「浄化槽市町村整備推進事業（市町村設置型）」を実施する市町村に対して補助金を交付し、より一層の浄化槽整備を図りました。

（環境関連主要事業（決算額）一覧 NO.192）

流域下水道事業の推進

【下水道室 内線：3959】

公衆衛生の向上や市街地における浸水被害の解消、大阪湾や河川等の公共用水域の水質改善のため、流域下水道の幹線管渠、ポンプ場、水みらいセンター（下水処理場）の整備を推進しました。水みらいセンターにおいては、富栄養化の原因である窒素・りん等を除去する高度な水処理施設（高度処理施設）の整備を推進しており、平成20年度には、原田水みらいセンターで12,295 m³/日、中央水みらいセンターで25,550 m³/日、渚水みらいセンターで27,760 m³/日、中部水みらいセンターで13,800 m³/日の処理施設の増強工事が完了しました。

（環境関連主要事業（決算額）一覧 NO.226）

図-28 渚水みらいセンター



図-29 大阪湾水質一斉調査



寝屋川流域清流ルネッサンス

【河川室 内線：2952】

「寝屋川流域水循環系再生構想」の実現に向け、平成23年を目標年として、平成16年5月に策定された寝屋川流域清流ルネッサンス（第二期水環境改善緊急行動計画）に基づき、河川事業や下水道事業、住民協働による生活排水対策など、流域全体で水質改善、流量確保、水辺環境の整備を図っています。平成20年度は、寝屋川の浄化浚渫、平野川の多自然浄化施設の整備等を行いました。

（環境関連主要事業（決算額）一覧 NO.381）

【寝屋川流域水循環系再生構想】

寝屋川流域が国の都市再生プロジェクト（第3次決定都市環境インフラの再生・水循環系の再生）のモデル流域に選定されたことを受け、平成15年6月に、寝屋川流域協議会（水環境部会）が策定

大阪湾再生行動計画のフォローアップ

【環境管理室 内線：3854】

国の関係省庁や関係10府県市等で構成する「大阪湾再生推進会議」に参画し、平成15年度に策定した「大阪湾再生行動計画」の見直しを行いました。また、計画のフォローアップとして、引き続き大阪湾内や大阪湾集水域内の河川での水質一斉調査などを行いました。

（環境関連主要事業（決算額）一覧 NO.199）